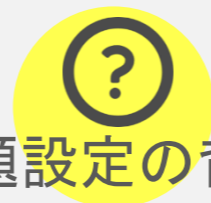




教育振興運動とは

- 子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が、それぞれの役割と責任を果たしながら、互いに連携して地域の教育課題の解決に取り組む運動です。
- 1965年の運動開始当初は「学力向上」を目指した取組が行われ、その後「健全育成」をテーマにした取組や、「メディアとの上手な付き合い方」などの全県共通課題の設定のもと、各実践区での取組が行われてきました。



課題設定の背景

- 「令和5年度全国学力・学習状況調査」において、本県の児童生徒の強みもありましたが、正答率や学習時間等の課題が見られる状況でした。また、不登校の児童生徒数も増加している状況です。
- 教育振興運動の推進状況について、「学力向上」を課題と捉えている割合・取組が減少しており、各実践区の課題意識や取組に現状との隔たりが見られたため、これらの課題に資する取組を開始するものです。



目指す子どもの姿

2つの全県共通課題に対する取組を進めることで…

- いつでもどこでも学べる環境の中で、学習意欲が向上し、「確かな学力」を身に付けていく子ども。
- 多様な体験活動（自然体験、社会体験、文化的体験、読書、遊び、手伝い等）を経験し、「自尊感情」「外向性」「精神的回復力」「向学的な意識」「肯定的な未来志向」等が高まる子ども。



家庭学習の充実

- 公民館や図書館等の地域の社会教育施設を活用した学習の場づくりを推進することにより、学習意欲の向上に資することが期待されます。
- 学習をサポートする地域人材の発掘や活用により、地域の大人が地域の子どもの育てる意識を高め、児童生徒の確かな学力の育成にもつながります。
- 本プランにおける「家庭学習」は、自宅で行う学習の他、地域の施設等を活用して行う学習、ボランティア等の支援による学習などを含めた学校の授業以外での学習全般を指します。

教育振興運動推進プラン (2024～2028)

全県共通課題

各地域の教育課題、児童生徒の現状に鑑み、全県的な喫緊の教育課題解決に資するため、全県共通課題として掲げ、取組を推進します。

家庭学習の充実

「確かな学力」を支える学校以外の学習環境の充実



体験活動の充実

健やかな成長を支える多様な体験活動の経験



👉地域の大人が地域の子どもの育てる



体験活動の充実

- 多様な体験活動の経験を通して、上記にあるような「自尊感情」等が高まることにより、不登校の課題の解決に資することが期待できます。
- 体験活動をサポートする地域人材の発掘と活用を通して、地域みんなで子どもの育成に関わる意識を高めることにつながります。
- 文部科学省の調査によって、様々な体験活動を多く行っている子どもほど、「自尊感情」や「向学的な意識」が高いことが明らかになっています。



課題解決に向けた取組

- 【県教育委員会では】
- ・ 本プランの説明および理解促進（各種会議、フォーラム、啓発活動等）
 - ・ 登録ボランティアの活用促進
- 【市町村及び実践区では(例)】
- ・ 本プランの理解促進と周知啓発
 - ・ 学校運営協議会や社会教育施設等との連携による取組の推進



地域学校協働活動 コミュニティ・スクール

- 地域と学校がパートナーとして連携・協働して行う「地域学校協働活動」と学校運営協議会制度を設置した「コミュニティ・スクール」は、地域の実態に応じて、「教育振興運動」の組織やその理念を基盤としたり、連携・共有したりしながら運動が進められています。



教育振興計画と連動

- 喫緊の課題解決に向けた取組を速やかに進める必要があることに加え、岩手県教育振興計画(2024～2028)と計画期間を一致させることで、効果的な取組の推進を図ることが期待できます。
- 【岩手県教育振興計画(2024～2028)からの抜粋】
- ・ 児童生徒の学習内容の定着と学習意欲の向上のため、自主的かつ計画的な家庭学習の充実に取り組めます。(P25)
 - ・ 教育振興運動と連携した ～中略～ 学校・家庭・地域が連携した多様な体験活動を推進します。(P31)



プラン推進の工程

2024	2025	2026	2027	2028
周知啓発、実態把握、取組奨励				
	好事例収集・紹介、実践の共有化			
60周年記念大会		実践の充実、改善点の検討・修正		
			実践の評価・まとめ	
岩手県教育振興計画(2024～2028)				



令和7年度 目標値

教育振興運動や地域学校協働活動を推進している市町村・地区の割合

95.7%

生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数

1,000人

学校の宿題だけでなく、自主学習に取り組んでいる児童生徒の割合

小:65% 中:59% 高:54%

県立青少年の家・野外活動センターにおける利用者の満足度の割合

97%

放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合

85.0%

学校や地域が行う体験活動に参加し、達成感や有用感をもった児童生徒の割合

小:87% 中:87% 高:90%

「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合

小:90% 中:85% 高:85%